

令和2年1月長浜市教育委員会定例会 会議録

I. 開催事項

1. 開催日時

令和2年1月23日（木） 午後1時30分～午後2時00分

2. 開催場所

教育委員会室（長浜市八幡東町632番地 長浜市役所5階）

3. 出席者

教育長	板山 英信
委員	井関 真弓（教育長職務代理者）
委員	西橋 義仁
委員	廣田 光前
委員	美濃部俊裕
委員	宮本 麻里

4. 欠席者

なし

5. 出席事務局職員

教育部長	米田幸子
次長兼教育総務課長事務取扱	岩田健
次長	横尾博邦
教育改革推進室長	土田康巳
教育指導課長	伊藤浩行
すこやか教育推進課長兼学校給食室長	大田久衛
幼児課長	大音洋
教育センター所長	野村幸弘
教育総務課長代理	今井健剛
教育総務課主幹	西川洋輔

6. 傍聴者

なし

II. 会議次第

1. 開 会

2. 議 事

- 日程第 1 会議録署名委員指名
- 日程第 2 会議録の承認
- 日程第 3 教育長の報告
- 日程第 4 議案審議
- 日程第 5 協議・報告事項
- 日程第 6 その他

3. 閉 会

III. 議事の概要

1. 開 会

教育長から開会宣言があった。

2. 会議録署名委員指名

西橋委員、廣田委員

3. 会議録の承認

12 月定例会

特に指摘事項はなく、12 月定例会の会議録は承認された。

4. 教育長の報告

教育長：日程第 3、教育長の報告でございます。

1 番でございますが、先日、杉野小・中学校の統合に向けた協議会から藤井市長に報告書を出していただきました。木之本小学校、中学校へ統合ということで、通学方法のことや体操服などについて各部会に分かれて何カ月間か話し合いをしていただきました。それと同時進行で開校準備も進めておりますので、あとは 4 月の統合に向けて最終の詰めを行っていくという段階でございます。

協議会の委員長、副委員長の方にもお話をさせていただきましたが、杉野小学校、中学校の歴史がなくなって木之本小学校へ行くというマイナスのイメージを子どもたちが決して持たないように今まで取り組んできていますし、統合して全て終わりではなくて今後数年間、子どもたちの見守り、見取りを過去の統合した学校と同様にしっかりしていくということをお話しさせていただきました。

木之本小学校、中学校につきましては、杉野の校区が入った新しい木之本小学校、木之本中学校になるという視点をしっかり持って子どもたちへの指導に取り組んでいただきたいと昨年から校長先生等を通じてお願いしているところでございます。

今週末に木之本中学校の立志式というのがありますが、こういうことを踏まえて、杉野中学校の学校運営協議会の委員の皆さんに学校からお声かけしてい

ただいているようです。出席いただけるかどうかまでは報告を受けていませんが、子どもたちにこういった配慮をしっかりといただければと思います。

2番の消防職員意見弁論大会ですが、これは湖北地域消防本部で行われました。米原市と長浜市の教育長が交代で審査員をさせていただいているということで、今年は私が行ってきました。

20代から30代前半ぐらいの若手の消防職員の方の意見発表会です。時間は一人5分間ぐらいです。発表の内容を紹介しますと、救急隊の隊員の方だと思いますが、最近では外国人を搬送する機会が結構あるが、その場合にポルトガル語や中国語などが話せないと、搬送する方が非常に不安に思われる。だから最低限必要な言葉を学ぶ必要があるということをおられた方や、消防署の職員はAEDの操作などは当然できるだろうと世間も思っているし、私たちも常識的にはそう思うが実際はどうだろうか。救急であろうが消防であろうが命を救うということが最大の目的だというような視点で発表しておられました。

8名の方の意見発表でしたがすごいなと感心しました。我々は人命を救う仕事についているという使命感を持って、責任感を持ってというのが印象的でした。

最後に、感心したことの一つは原稿を読む人が一人もいなかったということです。恐らく400字の原稿用紙か何かに書いているのですが、その5分間をフルに使ってしっかり前を見ながら参加した消防職員の方に訴えていました。

教育という仕事も崇高な使命感とかそういうものが要求される仕事だと思います。例えば不祥事防止とかそういうことについて、個人情報が出ないように気をつけなさい、飲酒運転したらどうなるのですかと上からの一方通行だったのではないだろうかと思います。でも、このことについて、若手の先生方がみんなの前で自分の考えを発表し、そしてそれを若手の先生方に聞いていただくということも有効かもしれないと思いました。

教員の意見発表会をしようとは思っていませんが、令和2年度において何らかの形で、例えば研究発表大会のときなどに考えられないかなと思った次第です。

最後ですが、先週「未来をになう長浜っ子」の育成プロジェクトに取り組んでいただいている先生方に5回目のワーキング会議をしていただきました。今回は北小学校で6年生の算数の授業を授業研究というよりも、指導、授業の形態を今後どんなふうを考えていくべきかという視点でしていただきました。

同時に、懇話会の委員さんにもお声かけしまして、何名かの委員さんにも来ていただきました。

浅井東診療所の先生も参加していただきましたが、先生方はいろいろ工夫して考えてやっていただいているという印象を持たれたようです。でも、それに甘んじてこれでやっていくのではなく、もう少し先を見据えて取り組む必要があると思ったところがございます。

私の見方が偏っているのかもしれませんが、学校教育のこれから先の一つの壁となるのは、一斉授業のスタイルであるため、できる子にとっては退屈な時間が多くなり、逆に理解がなかなか難しい子にとっては、理解していないのにそのまま授業が進んでしまうという状況です。それを助ける手段がICT機器とかそういうものになってくるというようにも感じたところです。一回だけ見て終わりではなく、またこの先も何回かそういう機会を持てればと思っております。

また、先週、校長先生方にもこのワーキング会議の取り組みを発表いたしました。ワーキング会議で活動いただいている先生方は、毎回終わるたびに学校で報告をしたりしているようですが、全体でもそういう会を持たせていただいています。

今年やって終わりではなく、来年度どういう形で取り組んでいくのかということもこの先生方を中心に考えていただいています。ここから1つでも2つでも具体的なものを引き出せて、少なくとも周辺の学校に広めていければ大きな流れになるのではないかと期待しているところでございます。

私からの報告は以上でございます。

5. 議案審議

審議案件なし

6. 協議・報告事項

審議案件なし

7. その他

西橋委員：今年の4月1日には長浜市教育委員会にとって新しい木之本小学校、中学校がスタートし、加えて虎姫学園が小中一貫校としてスタートすることになっています。今まで数年かけて開校に向けたいろいろな準備をしていただいて、余呉小中学校も参考にしながら万全の態勢をとっていただいていると思います。

今日、市から配布された議会だよりを見ていたら、この虎姫学園の施設整備をする中でアスベストのことが書いてありましたが、それについて詳しく教えてください。

教育総務課長：基本的には過去の図面や改修事例からアスベストはないということで動いていました。念のために最終確認をしましたところ、解体する中学校の一番古い棟において、過去に外壁の塗装を塗り直していますがその塗装部分にアスベストが含まれているということで、約1,000万円の補正をさせていただいて対応することについて、先般の議会でお認めをいただいたという経過がございます。

実際の対応については来年度の予算の中で対応してまいります。

西橋委員：それ以外のところは大丈夫なのでしょうか。

教育総務課長：はい、それ以外の部分では今回改修にあたる部分の抽出調査をしており、今回調べた中では中学校の解体の部分だけにあらわれました。箇所数はたくさん調べていますが、その部分だけに出たということです。渡り廊下を作るにあたりまして、念のため何カ所か調査したところ判明したということでございます。

廣田委員：医師会の事務長から、新しい虎姫学園で校医さんをお願いしますと依頼がありました。今まで虎姫小学校は私が担当で、中学校は担当していなかったのですが、中学校も含めてそういう話がありました。

8. 閉会

教育長から閉会宣言があった。

会議録署名人

令和 年 月 日
